

### 単元において育成を目指す資質・能力

茨城県提供

- 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。〔知識及び技能〕(1)カ
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)オ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

### ICT活用のポイント

- 個人・グループにおいて推敲した文章をICT端末で撮影、モニターに投影し、学習支援ソフトを用いて全体で比較・検討、確認することで、考えたことを表現・共有する場面において活用することができる。

### 本時における学習の流れ

1 学習課題と例文を確認する。

2 グループで例文を推敲する。

3 推敲した内容を学習支援ソフトで全体で共有する。

4 本時の学習を振り返る。

### 事例の概要

#### 【学習課題】

相手に主張を分かりやすく伝えるためには、文章全体をどのように推敲したらよだろうか。

#### 【概要】

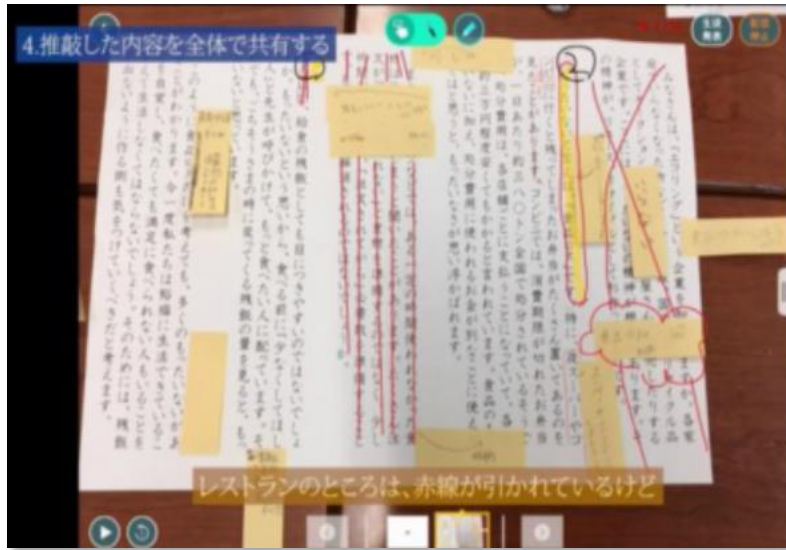
観点(①主張を支える事例(根拠)を挙げているか、②事例(根拠)を示す順序は適切か、③テーマについて事実と考え・感想を区別して主張しているか)に基づいて推敲した意見文を記録し、全体で共有する。

本時の後、児童が自分で書いた意見文について推敲する学習を行う。

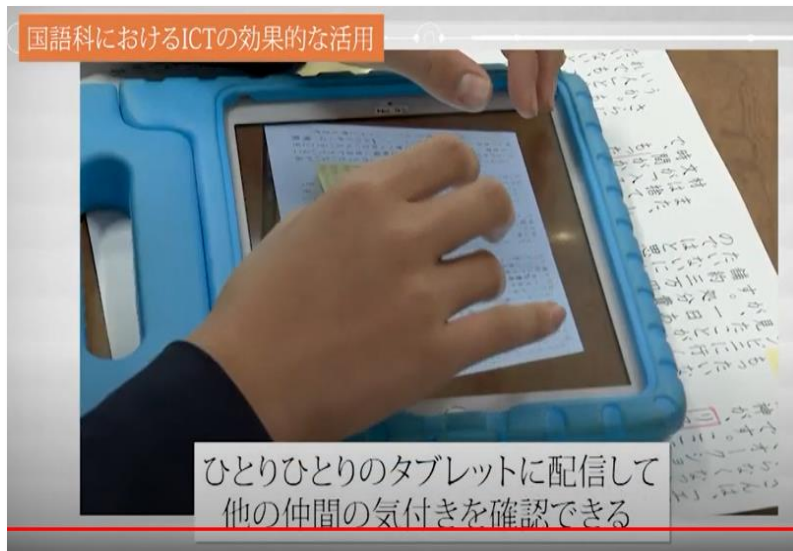
# 小学校・第6学年・国語科

## 文章全体の構成や書き表し方に着目して、意見文を整えよう②

### 【事例におけるICT活用の場面①】



### 【事例におけるICT活用の場面②】



### 【本時におけるICTを効果的に活用するためのポイント】

- ① 学級の児童全体で推敲した文章を共有するために、教師が作成した「例文シート」に付箋を貼ったり赤鉛筆で訂正を加えたりした画像データを学習支援ソフトで各グループが提出。モニター及び手元のICT端末で全グループのプリントを確認できるようにした。
- ② 自分では気付くことのできなかつた推敲の内容を共有するために、教師用のICT端末から児童用のICT端末に再度画像データを配信し、他グループの「例文シート」を参考にして、自力で推敲できるようにした。

### 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト（画面共有、画像の編集など）

### 【国語科における子供たちの学びの姿のイメージ（例）】

